

項 目	3 地域公共交通計画の策定と交通税の導入について
答弁者	交通基盤部長
質問要旨	<p>昨年9月議会本会議において、難波副知事から「県全体の地域公共交通の目指す姿を描き、その実現方法を示す地域公共交通計画を定める」と答弁をいただいた。</p> <p>昨年は、フランスの交通権の概念、オーストリアの運輸連合という公共交通の連合体方式などを紹介し、上下分離方式の導入の必要性も提言したが、これらの思想を反映させながら協議は行われるのか再度伺う。</p> <p>今回はこれに加え、現在、滋賀県が導入を検討している、鉄道やバスなどの公共交通を維持する財源としての「交通税」についても伺う。補助金制度よりも財源が安定することと、県全体の地域公共交通のあり方を具体的に描いていく上で必要な基幹交通網の安定化につながる手段である。</p> <p>そこで、「交通税」の導入について今後本県でも検討していくべきと考えるが、所見を伺う。</p>

<答弁内容>

地域公共交通計画の策定と交通税の導入についてお答えいたします。

地域公共交通は、地域の暮らしと産業を支え、豊かで暮らしやすい地域づくりや、個性・活力ある地域の振興を図る上で、大きな役割を果たしております。しかしながら、近年の急激な人口減少、運転手不足の深刻化、さらにはコロナ禍による新しい生活様式の浸透などにより、「民間の交通事業者が収益を確保できる形で公共交通を担う」という従来の構造を維持することが厳しくなっております。

このため、県では地域公共交通活性化再生法に基づき、昨年度末に更新したインフラビジョンなどを踏まえながら、持続可能で利便性の高い公共交通サービスが提供できるよう、これまでの計画にない考え方も取り入れた「地域公共交通計画」を策定することといたしました。来月、交通事業者や学識経験者などで構成する「静岡県地域公共交通活性化協議会」を立ち上げ、検討を進めてまいります。

具体的には、協議会におきまして、議員から御紹介、御提案がありました海外の事例や上下分離方式の取組などについて紹介し、共有した上で、従来の公共交通サービスに加え、スクールバスや福祉輸送といった多様な輸送資源についても最大限活用し、脱炭素化やMa a S、自動運転なども考慮した、地域にとって望ましい旅客運送サービスの姿について議論を進めてまいります。

また、交通税につきましては、導入を検討している滋賀県におきまして、慎重かつ丁寧に議論しているところであると伺っております。全国で初めての試みであることから、本県としても、引き続き、その動向を注視してまいります。

県といたしましては、地域にとって望ましい持続可能な旅客運送サービスのマスタープランとしての役割を果たす地域公共交通計画の策定に向けて、関係者とともに全力で取り組んでまいります。

以上であります。

項 目	3 地域公共交通計画の策定と交通税の導入について【再質問】
答弁者	交通基盤部長
質問要旨	特に高齢の方、子育て中の方の交通手段を確保することが非常に重要である。群馬県は上下分離方式を3路線で導入しており、滋賀県の交通税も思想として非常に重要である。 公共交通を民間に任せておくのではなくて、県が支えていくという、方向を打ち出すことが非常に重要だと考えるが、如何か。

<答弁内容>

地域公共交通計画の再質問についてお答えいたします。

議員から御紹介がありました海外の事例でありますとか、制度につきましては、今から我々が策定する地域公共交通計画で地域にとって望ましい旅客サービスの姿、それを描いた上で達成する方法として、公的な関与のあり方であるとか、その財政的な支援をどのようにしていくかというような、その方法論として御提案いただいていると認識しております。

他県の事例等も調査しながら、実行、達成するための手法論として、協議会の中でも幅広く意見を聞きながら、議論を進めてまいりたいと考えております。

以上であります。